



東海大学付属望星高等学校同窓会 会報 Vol.41

詞
元

2019年2月発行

東京都渋谷区富ヶ谷2-10-1 TEL.03-3467-8111 発行人:金谷 義孝

平成25年頃までの卒業式では学園代表祝辞を述べられていたし、会報に内木コーナーが有り、執筆されてもいた。

私が入学した昭和四十八年入学式での校長先生告辞で、始めて話しきをうかがつたときから、その感情豊かな話しぶりに魅了された。後から児童演劇界の大家であると知ることになる。又、先生の著書も沢山頂いた。在学中に生徒会活動に携わることになるが、当時の同窓会役員と共に、内木先生のお宅にたびたびお邪魔した。東海大学隣りにあつた旧自宅には見事な桜と、裏には銀杏の木があつた。在学

平成三十年十月二日、私達が最も敬愛する内木文英先生が亡くなられた。九十四歳と長生きはされていたが、九十九歳の白寿祝いをする事が、米寿祝いの時に集つた古い卒業生の夢で約束事でもあつたので非常に残念でならない。



内木先生との思い出

東海大学付属望星高等学校同窓会 会長 金谷 義孝

中の行事の一つにバスハイクが有つたが、これに私の家族も参加した。まだ幼稚園児だった長女と次女そして我妻までも、優しく接して頂いた内木先生の大ファンになつた。これ以降は望星の活動で午前様にならうと、おおめに見て貰えるようになつた。私の卒業式の時など、同級生だけでも三十名ほど押しかけ、当然のように酒盛りになつた。

が、床が抜けそうな感じになつた事が、まだ記憶に新しい。この時の、百合子ママの作る春巻きの味は忘れられない。いつも内木家の家族全員でのおもてなしである。

先生との思い出は、銀婚式、金婚式、還暦、出版記念、受章、米寿の事、お孫さんまでも一緒にもんじや焼き食べに行つた時、OGがミンクのコート着ていつて匂いが移つたとぼやいたなど笑える事も沢山あつた。

数々の思い出のその側には最愛の百合子ママがいつも側におられた。まだママの足もそんなに悪く

手元に内木先生の還暦祝いの写真が出てきた。先生も奥様も若く、遠方からも沢山の教職員や卒業生が集つた。そして、内木節が心地よく胸を打ち、みんなで肩くみあい生徒会の歌や校歌まで飛び出し、立派な酔っ払い集団が出来上がりつた。

ない頃、長南さんの奥さんの実家である会津の民宿に、同窓会の有志で旅行でかけた。そこで麻雀した事や、大内宿で長ネギをお箸での辛み蕎麦の思い出も、この間の間のように思える。その最愛の奥様も、平成21年10月19日にご逝去された。この頃から内木先生もだんだん元気をなくされたようになりた。

先生がよく口にされていた「俺は望星といつしょに生きよう。有名にならなくとも、金持ちにならなくていい。この学校が俺の命だ。」この言葉と学校は私達が守ります。長い間、本当にありがとうございました。ゆっくりお休み下さい。

内木先生からは色々な事を教わったが、その中でも生涯教育の事を強く教わった。

先生の告別式の後、私のまだ不得手な分野は？そんな事を考えていたら、ある大学の入学案内を見た。70歳を過ぎて、眼も見えなく



内木先生を偲んで 最初と最後の原稿

諸君！ふるさと を訪ねたまえ



小学校の二年
生の時であった。

「人間は動物であ
るか否か」につい
て、クラスの中で

大論争が行われた。私は「犬だつて人間
だつて、おんなじようにオシッコもする
なんだ」と言い張った。金子というがき
大将は、「人間は人間だ、動物ではな
い」と、自分が侮辱されたかのように
怒つて抗弁した。私と金子が言いあつ
ている後で、クラス中が二つに分かれて
大騒ぎであつた。

金子は涙を流し、顔を真赤にさせ、
私の胸ぐらをつかんで、「お前は犬と同
じなのか。え、内木。お前は猫と同じな
のか」と言いながら、私をこづきまわす
のである。私は後退しながら、「同じだ。
同じだ」と言い続けた。

金子は法政大学に進み、学徒出陣で
出征した。航空将校になつて敵艦に体
当りして死んだ。二階級特進というこ

とだから、死んで大尉になつたのだと
思う。

その小学校は王子第三小学校で、環
状七号線が国道十七号と交叉する所
を、さらに西新井寄りに進むと左側に

ある。そのあたりを運転して通ると胸
の痛むような思いがする。まったく胸
が痛むのである。その学校を中心にして、かつて私の小さな人生があつたので

ある。私は今から四十年も前にその学
校で学んだのだ。学校とは「ふるさと」
のようなものだ、と私は思うのである。

今日の自分を形成するある部分が、そ
の時、その地で養われたのだ。ほかに言
葉がないから「なつかしい」と表現する

が、「かなしく」「なんとも言われぬ」も
のでそれはあるのだ。

諸君、ふるさとを訪ねたまえ。

作家として生きるか、教員を続けるか
迷っていた。

昭和三十年（一九五五年）頃、私は劇
作家として生きるか、教員を続けるか
迷っていた。

Y君の教育を放り出して、お前はテ
レビを書くのか。そんなにお金が欲し
いのか。その晩、私は焼酎をたくさん飲
み、「俺は望星といっしょに生きよう。
いた。テレビがはじまつっていた。日曜日
夜のテレビドラマに私の作品が取り上
げられ好評だった。教育テレビを書か
され、たくさんの稿料を手にした。作
家が自分の天職に違いないと思つた。

その頃、東海大学の創設者松前重義
先生が、私と顔を合わせるたびに、「富
士山の頂上にアンテナを建て、そこか
らまだ開発されていない電波（FM）を
流し、教育を載せる。そういう学校を
創りたい」と、私に向かつて言い続け
た。その学校が出来てからだ。それから
俺は、俺の好きな道を生きよう、と心
に決めた。

昭和三十四年、「望星高校」が、奇跡
的に誕生した。その最初のスクーリン
グの朝、大学生の弟に背負わせて登校
したY君の姿に大きな衝撃を受けた。
身体が小学生くらいの大きさなのだ。
一番前の椅子に座つて、私のしゃべる言
葉を一生懸命メモするのだ。

わが人生、そしてわが命「望星」

一番前の椅子に座つて、私のしゃべる言
葉を一生懸命メモするのだ。

Y君の教育を放り出して、お前はテ
レビを書くのか。そんなにお金が欲し
いのか。その晩、私は焼酎をたくさん飲
み、「俺は望星といっしょに生きよう。
いた。テレビがはじまつっていた。日曜日
夜のテレビドラマに私の作品が取り上
げられ好評だった。教育テレビを書か
され、たくさんの稿料を手にした。作
家が自分の天職に違いないと思つた。
なくともいい。この学校が俺の命だ。」
そう思つたのだ。その思いを、私は今
でも忘れてはいけない。





同窓生の皆様へのお知らせ

望星高校が新しくかわります

校長 永井 成昌

1. 新校舎を建設します。

老朽化している現在の校舎を建替え
て、2019年4月より新校舎の建設
を行います。

2021年4月に現在地の奥側に
新校舎が完成する予定です。新校舎は、
在籍生徒数や教育内容に適した規模・
環境等を考慮して建設します。

2. 隣接する代々木キャンパスに仮移転
します。

校舎を建設している期間(2019
年4月～2021年3月を予定)は、
隣接している東海大学代々木キャンパ
スの2号館2F～5Fに仮移転して、
これまでの教育活動を継続して展開い
たします。

3. 本校の現校舎は、1964年に東
海大学付属高等学校(現東海大学付属
浦安高等学校・中等部)として建設さ
れ、その後付属高校が1975年に千
葉県浦安市に移転した後に、東海大学
代々木キャンパス内で開校していた付

属望星高等学校が現在の地に移りまし
た。

現校舎は建設後54年が経過している
ことから、念願であった新校舎への建て
替えを実現できる様、監督官庁とも相
談を重ねてまいりました。

来春からの2年間、仮移転の校舎と
なる代々木キャンパスの2号館は、現校
舎の南西約100mの地にあり、現在
も「情報」などのスクーリングに使用し
ているところです。

従いまして、通学時間等も含め、これ
までの学校生活を変更することなく、
学習活動を行うことができますので、
安心して通学できると思います。

しかしながら、仮校舎での期間におい
ては東海大学の学生や法人本部の職員
と同じ敷地で施設を共同して使用する
こととなりますので、お互いを尊重し
て、気持ちよく学園生活が送れるよう
にしていただらうと思います。

迷惑をお掛けしますが、掲示等でのご
案内など、「ご不便のないようしたい」と
思いますので、なにとぞご理解・ご協力
のほどお願いいたします。

現校舎同様、お車でのご来校はでき
ませんので、宜しくお願ひ申し上げま
す。

本校教職員は、通信制高校としての
基本を大切にし、歴史ある本校の教育
に責任と自負心を持つて携わっております。
在校生・保護者・卒業生がこの望
星高校を、一層誇りに思えるように、教
職員一丸となって、今後も努力してまい
りますので、さらなるご支援・ご協力を
宜しくお願ひ致します。

なお、私は、この3月をもちまして定
年退職となります。4年間ではあります
が、お世話になりましたので、お互いを尊重し
て、ありがとうございました。

私と望星高校

25期 荒川 玲子(河野)



私は望星を卒業して何十年の月日が経つてあります。当時、私のクラスは通称Mクラスと呼ばれ他のクラスと違い本校へ行くこともなく、別の学校に通い、4年制でしたので最後の1年だけ本校に通うという感じで、連合運動会など他のクラスを見ても「ふーん。」とう感じで望星の文化祭などはもちろん不参加で、(望星の文化祭で何かやるなんて考えもつきませんでした。要請もされませんでしたし私が在籍したMクラスは望星ではかなり特殊なクラスだったのかも知れません)

ただひたすらに単位、単位と騒いでいた気がします。最後の1年は働きながらでしたので、3年間の内に取れる単位は取つてしまえっていう事で「つくりなら落としても大丈夫。」とある先生に聞けば心置きなく苦手な科目を

落とし(将来、それをきちんとやらなかつた事を後悔する)最終的には必須単位は軽く越えるくらいの単位を取つて卒業しました。

卒業してから数年経ち、なにげに高校のホームページを見て、教わっていた先生の姿を見つけ(文化祭、手伝い募集)の文字を見て卒業してからも交流のある友人に連絡して、連絡窓口になつていた先生(教わっていた先生だつたらしさだったのであつて違う先生ならしなかつたかも)に連絡して友人と参加しました。それから、それが楽しくなり、先輩方の話や先生の近況、後輩の交流など、なんでもつと早くやらなかつたんだろうと思う次第です。

今手元に1992年の新入生オリエンテーションで配った「望星の葉」があります。この葉は、望星高校における学習集の文字を見て卒業してからも交流のある友人に連絡して、連絡窓口になつていた先生(教わっていた先生だつたらしさだったのであつて違う先生ならしなかつたかも)に連絡して友人と参加しました。それから、それが楽しくなり、先輩方の話や先生の近況、後輩の交流など、なんでもつと早くやらなかつたんだろうと思う次第です。

その22ページに、校舎案内図があり、それを見ると、望星高校が大きく変わつたとつくづく思います。1階の事務室の場所は変わらないのですが、その隣の部屋が校長室。今は、2階の階段を上がつたところに移動しました。校長室の隣に職員室。今は、チャットルームです。職員室の隣が図書室。昔は、職員会議は図書室でしていました。現在は、会議は広い202教室で行われています。私たちが使つている今の職員室は、その当時は、101教室と102教室として使われていました。単位制というコースができたときには、102教室の一角で昼休みにパンなどを販売していたのです。ちなみに、単位制コースが1989年スタートしました。図書室の前には、第1ゼミ室と第二ゼミ室があり、この部屋も途中から非常勤講

学校便り

ADHDの疑いがあり、毎日ではありませんが辛い日々を送っています。苦労らしい苦労はしていませんが手帳を持ち自立支援する作業所で働いています。望星に通つていた4年間は毎日が楽しくて、卒業するのが嫌になるくらい楽しい思い出しかない学校です。当時通つた学校はもうありませんが、望星高校だけはいつまでも残つていて欲しい学校です。

第1スタジオの引っ越し準備——この場所で私たち教員は授業を録音していました。



師の先生方に使われていました。そのゼミ室の横には、健康管理室があります。この部屋は、今も変わりません。その横には、印刷室と教材研究室があり、それは、今の101教室。図書室は単位制定員室として使われていました。資料室は、教職員の更衣室となっています。

文化祭に関する報告



母校を卒業し、早くも5年が経つ。私も今年度の三年次生と同じく卒業する身である。

大学を卒業し、新社会人一年目として新生活を迎えることになる。新生活を迎えるに当たって、期待が湧くことや不安に思う事もあるだろう。今後どのような人生が待っているのだろうか。さて、話を文化祭に移すが、私が卒業してから5年が経ち、毎年、変化のある文化祭が行われている。というのも出店団体毎に生徒一人一人の個性が表れており、それが文化祭全体に反映されていることで文化祭が毎年違った側面が見える。私達自身OBOGとしてできることは少ないが、サポートや出店する形で参加させて頂いている。今年度も例年通り、同窓会役員会として活動し、文化祭の模擬店や出展、公演等を見物した。そうして特に思ったことは、生徒間が連携していることだ。例に出すならば、売れ残った出し物を助けけ

合つて販売、買い取りを行つていたことである。学校の生徒が助け合いの精神を基に行動することは望星高校の校風の自由であることが関係しているのではないかだろうか。

さて、今年も盛況だった文化祭だが、特に印象に残つたことがあるので2つ述べる。今年度の文化祭では例年通り、演劇部や音楽部が舞台を使用して公演を行なつていた。今年度は三年次生が在籍していたため、部活動の引退などの関係性もあり、例年に負けないくらいの公演が見えた。一つ目は音楽部について述べる。音楽部はライブを行うようなスタンスになつていて、その中でも音楽部では体調を崩していた生徒がいた。演奏する前に風邪を引いていることを話し、それでも演奏するために来たと笑顔で語った。休まずに演奏をする心意気は今まで練習してきた事の集大成を発表したいということだろうか。このように、不測の事態が起きたとしても必ず最後まで実行する心意気には非常に感銘を受けた。また他の音楽部の発表でも一年に一度の文化祭ということも

あつてか、熱心にまた丁寧に演奏していた。毎年恒例の音楽部の演奏は例年と違つた雰囲気で発表されていて、参加していく心地良かつたと思う。

二つ目に演劇部について述べたいと思う。同窓会役員になってからは文化祭の醍醐味として演劇部と音楽部の公演を毎年拝見しているが、今年の演劇部は三年次生が多く参加しており、出演者の多くが高校最後の文化祭となつていたことだろう。この状況で内容が非常に面白くもあり、会場内では多くの拍手が起こつた。そして公演が終わり最後の出演者の言葉で部員の殆どが最後の文化祭になるという話をしていた。OBOGの手伝いや最後になる三年次生の公演により、非常に白熱した演劇になつていたと思う。

この二つの部活動の公演は毎年見ていると、やはり年次が上がることによる変化が良く見える。毎年部員を入れ替わることで、違つた雰囲気や内容を楽しめる。来年はどのような文化祭になるだろうか。またそのためにも今後の望星高校を見守つていきたいと思う。



東海大学望星高等学校 同窓会役員会 三田村 諭(五十一期生)

同一疾患を左右別時期手術を行つた！

二期卒 清水 庄司

私清水は、昨一八年の年明け早々、右側の鼠径（股の付け根）ヘルニア（以下、脱腸）の手術を受けました。

事の発端は、遡る三年一月半ば頃より、左腹部に鈍痛を感じる様になりました。が、希望的観測で安易に楽観的に考えて、其のまま放置していました。が、其のうち鼠径部が膨らみ始め出し押すと戻る様になりました。脱腸では、と、ネット検索を行なつた。

結果は、脱腸の原因は、加齢に因る腹筋が弱まり内側の腹膜が腹筋を押して、外側にとび出す現象で、其のうち押しても元に戻らなくなると嵌頓（かんとん）状態になり、其のまま放置していると、脱腸部内に取り残された、小腸が血流障害で壊死して生命に関わり緊急手術を行なう様になるそうです。

そこで、胃腸科の先生の診断の下に手術を行なう事にして、紹介状を頂いて、病院へ行きました。

病院で手術の際の麻酔法を問われ、白内障の手術の時、局部麻酔で手術中の会話を筒抜けだったので、まわりが、賑やかなので全員麻酔を希望しました。

眼科手術では、原則として局部麻酔で、私の時は注射による麻酔でしたが、今は点眼麻酔が主流のようです。が、局部麻酔である事に変わりません。

そして、五月の連休明けに手術を受けました。

ネット検索では、一般的に右側に発症する例が多く、左側に発症した場合は、右側にも発症する例が多いとあり、頭の片隅に記憶しておいた。

そして、一七年二月下旬の事入浴中、右側鼠径部が微かに腫れているのを確認しました。

二、三日様子見をしたが、間違なく脱腸と確信し、かかりつけの内科の先生に診て頂き、紹介状をお願いした。前回手術した病院は、検索結果常勤の外科医は、一名で、非常勤の医師の掲載が無かつたので、緊急時の対応に問題があるのではないかと別の病院をお願いしました。

紹介された病院は、望星の兄弟校の相模高とは、市境の道路一本隔てた所にあり、院長先生は、大学教授クラスの外科医で、大学等からの招請を断つて第二線で若手医師を指導されておられる方と、かかりつけの先生からお伺いしました。

年末年始と云う事で年明け早々に手術を行なう事にしました。

今回手術を受けるに当たり、前回に多分見落とした。僅かな兆候を疑つて、鈍痛を感じる前に早期発見に繋がったのは、学習効果と思いました。

現在の外科手術は、昔錢湯如何にも手術をうけました。と云う様な傷跡をよく見かけたのですが、殆ど傷痕がないので、旅館等の大浴場でも人目を気にせずに入浴出来るのは嬉しいことです。

【余談】相模高のOBの話では、部活等で負傷した時救急車を呼ぶより直接担ぎ込んだ方が早いので、時々利用している病院だそうです。

第56回

望星同窓会のご案内

編
集
後
記

この案内を見る頃は新しい年号に変わっているのでしょうかね。

久しぶりに同級生誘つて参加してみませんか？懐かしい先生や仲間たちの顔。

昔話に花咲かせ、肩くみかわし校歌でも歌つて見ませんか？思い出をお持ち帰りください。

今年も左記の六のつく卒業生はワンコイン五百円で参加できます。

皆様のお出でを、先生と同窓生がお待ちしております。出席は直接かホームページから申込み、又、近況をお知らせください。

今年も左記の六のつく卒業生はワンコイン五百円で参加できます。

皆様のお出でを、先生と同窓生がお待ちしております。出席は直接かホームページから申込み、又、近況をお知らせください。

記

①日時 平成三十一年六月十六日(日)

午後二時より総会

②場所 総会・東海大学4号館
懇親会・二階学食談話室

③会費 三千円
ご夫婦での参加(五千円)
(Yカフエ)

六期・十六期・二六期・三六期・四六期
並びに今年度五六期卒業生は五百円

※賞品多数ゲット確実です。

④その他 ピンゴゲーム

いよいよ平成が終わる。昨年は内木文英先生もお亡くなりになつた。同窓会執行部役員の主たるメンバーが七十歳過ぎか、大学新卒位の年代で丁度良い働き盛りの年代がいない。他の同窓会もあるいは企業でも後継者問題が社会現象としてとらえられている事はたびたび目にします。

年号も変わると同窓会の伝統を守るだけでなく、新しい感覚でシステム自体も変換する時期でもあります。新しい役員達も、就職して実社会に出ると、仕事の合間に同窓会活動するには難しいことも多いだろう。そのような話をしていたとき、古い期のメンバー達も若い頃は貧しかつたし、学費は自分で払い、同窓会からは交通費も支給されなく、仕事も忙しかつた。でも、忙しいのはお互い様だし誰かが、引き継いで補いながら望星高校同窓会活動を続けた。

この原動力が役員会終了後の内木先生との一杯、先輩達との一杯が大きかった。勿論、お酒だけではなく、勉強の事も人生・恋・仕事・人生相談等の悩みも多かつたとき、これらの話しが全て身になり解決に繋がった。又、明日から頑張つて仕事するぞとなつた。

かつて望星バカと言う言葉があつた。生徒会の歌もあり、スクーリングの朝礼の時に生徒会主導で歌つた。その歌詞のなかに「望星おノわが母校 わが命」との一節がある。内木先生も良く口にされていた「望星わが命」と叫べる、新しい望星バカが現れん事を切に望む。